

# 研究発表会 教職に関する研究

茨城県教育研修センター  
教職教育課  
☎ 0296-78-3212(直通)  
平成31年1月23日発行



## 研究主題 考え、議論する道徳の指導の在り方 — 質の高い多様な指導方法の工夫を通して —

どのような授業を行えば  
「考え、議論する道徳」  
が実現できるのか

12月26日に  
249人の先生が参加

研究協力校として発表した小学校・中学校・高等学校の先生方



常陸太田市立太田小学校  
石井 隼人 教諭



常総市立絹西小学校  
中山 尚美 教諭



神栖市立波崎第三中学校  
吉田 美果 教諭



龍ヶ崎市立長山中学校  
平山 雅一 教諭



県立鹿島高等学校  
郡司 康平 教諭

協力校の先生方と共に、「考え、議論する道徳」を実現させるために、児童生徒の実態に即した効果的な指導方法について研究してきました。「考える道徳」では、児童生徒が主体的に自分との関わりで考え、「議論する」ことで多様な考え方、感じ方と出会い交流し、自分の考え方、感じ方をより明確にすることができる授業づくりが大切です。教師が明確な指導観をもち、問題解決的な学習、体験的な活動など多様な指導方法を工夫することによって、児童生徒が多角的・多面的に考え、主体的に判断し、自分の生き方についての考えを深めることができました。



道徳科の授業は、毎時間がメイク・ドラマです。深い学びにたどり着くための答えは目の前にいる子どもたちの中にあります。先生方も、子どもたちと一緒に道徳の授業を楽しんでください。

講師:文部科学省 教科調査官 浅見 哲也 先生

浅見先生には、本研究の講師として、2年間にわたりご指導、ご助言いただきました。



研究協議の様子

8つの分散会に分かれ、考え、議論する道徳について協議しました

### 受講者の感想

- 考え、議論する道徳を実践するための手段を学びました。実際に工夫して実践し、子どもたちの道徳性を育むことができる授業づくりに励みたいです。(小学校教員)
- 来年度の教科化に向けて、道徳主任として悩みました。今回の発表で、授業における様々な手立て、効果的な工夫を自分の授業に取り入れ、また、同僚の先生方に、今回得たものを確実に伝達したいです。(中学校教員)
- 一つの教材でも、実態によって生徒に考えさせ方が違うということを見せさせていただき、勉強になりました。中学校の学校全体での取組や授業実践が大変参考になりました。(高等学校教員)